

モデル事業への期待

210310

住まい環境整備モデル事業事業者交流会にて

高橋紘士 モデル事業評価委員会委員長
東京通信大学教授

高齢者住宅協会顧問・サ高住のあり方についての懇談会座長

これからお話しすること

- 住まい環境整備モデル事業の政策目的～国庫補助金事業の意義
 - モデル事業の先進性、新奇性、波及効果、実現可能性
 - 経済的支援による事業の広がりへの期待
 - 既存の住まいとその環境のあり方への提案

- 評価にあたって重視したこと
 - 地域への波及効果、地域に開かれていること、地域との関係づくり
 - モデルとしての普及可能性への期待

事業の進行管理と事業者交流会の意義

- 採択事業（実施事業）の進行管理と評価
 - 事業フォローアップ調査の意義
 - 助言と要望～完成度の高い事業遂行へ
 - 次期応募事業者への情報提供と提案作成への示唆
- 本交流会の意義
 - 交流会を通じて、他の事業の状況を知ることにより自己の実施事業の振り返りを行う
 - これからの事業完成に向けての課題整理
 - 完成事業の持続可能性の自己検証